

5 - 6 紀伊半島の上下変動

Vertical Movements in Kii Peninsula

国土地理院 測地部
Geodetic Department, Geographical Survey Institute

紀伊半島全体を北から9つの路線に分けて、各路線の水準測量結果（1979, 6～11）について報告する。

各図とも、上段が今回と前回（ほぼ1970～1972）との比較結果で、下段は前回と前々回（ほぼ1965～1968）との比較結果から得られた上下変動グラフであるが、半島中央部は観測時期が異なっている。

各上下変動グラフの特徴を第1図から順番に説明する。

第1図の多気－津間については松阪市から北の津市にかけ地盤沈下の現象がみられる。

第2図の大阪－和歌山間についても大阪市内及び堺市から泉南町まで顕著な地盤沈下がみられる。

第3図の海南－五条間は第4図の五条－多気間とともに中央構造線のすぐ南を通る路線であるが、海南市、和歌山市に対して橋本市、五条市が沈下している。

第5図の海南－上富田間は印南町から田辺市、上富田町までの隆起がみられる。

第6図の五条－新宮間は道路変更による復旧点が多い。大きな変動はない。

第7図の新宮－多気間は北へ行くにつれて沈下傾向が次第に増大している。

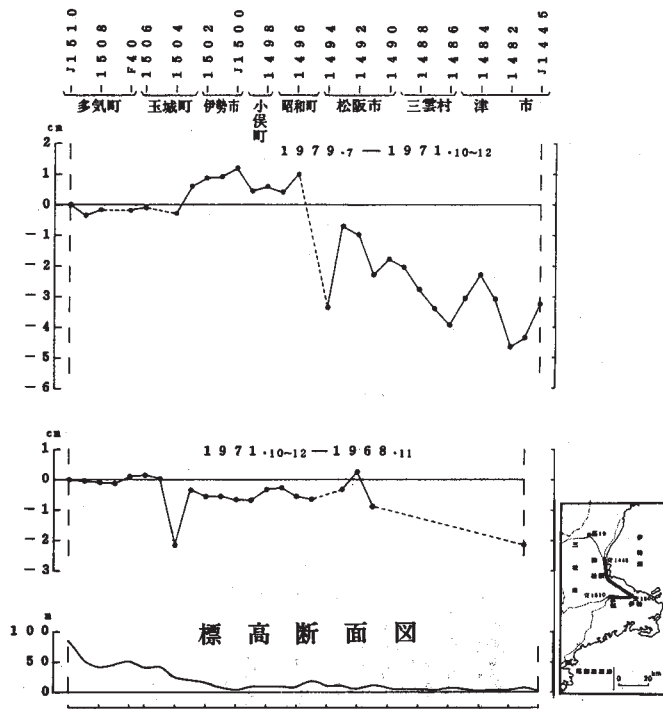
第8図の上富田－本宮は大きな変動はない。

第9図、田辺－新宮間もほぼ大きな変動はない。串本町の紀伊半島の突端が、前回につづいてやや顕著に沈下している。

断片的な変動の表し方で紀伊半島全体の変動を把握しにくいので、別稿¹⁾で中部・近畿地方の上下変動として平均計算を行い報告する。

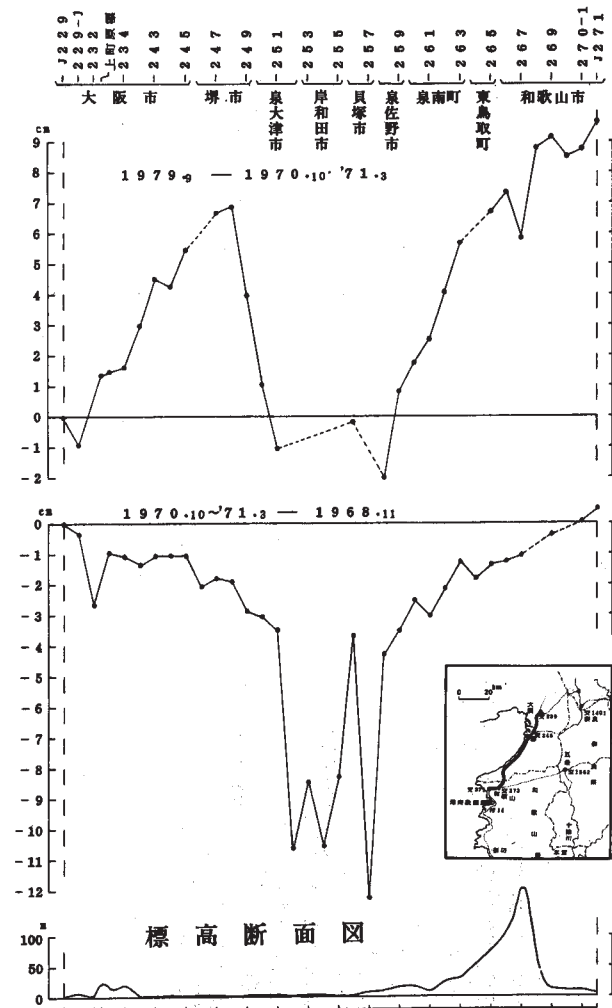
参 考 文 献

1) 国土地理院測地部：中部・近畿地方の上下変動，連絡会報，24（1980），201 - 214.



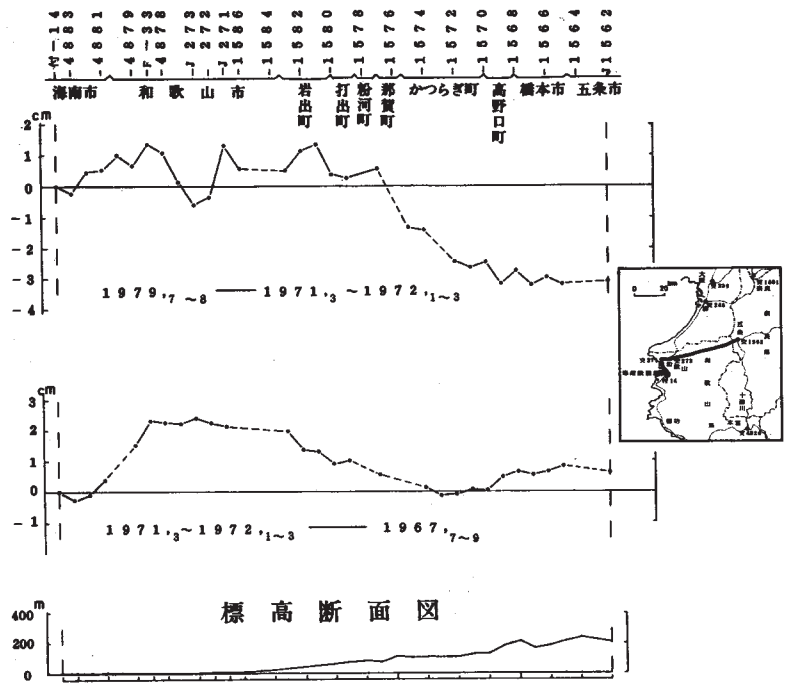
第1図 多気～津間の上下変動グラフ

Fig. 1 Vertical movements between Taki and Tsu.

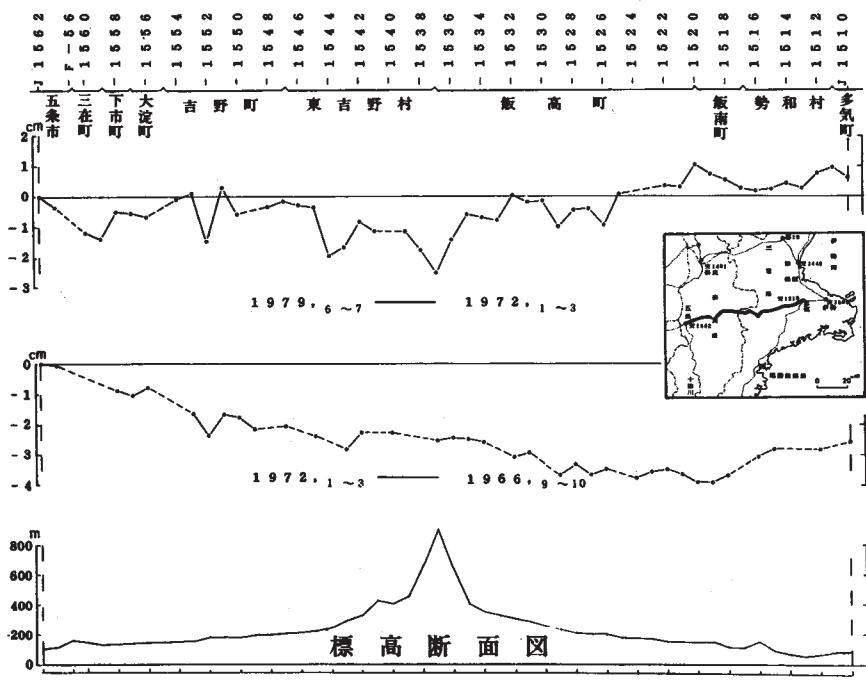


第2図 大阪～和歌山間の上下変動グラフ

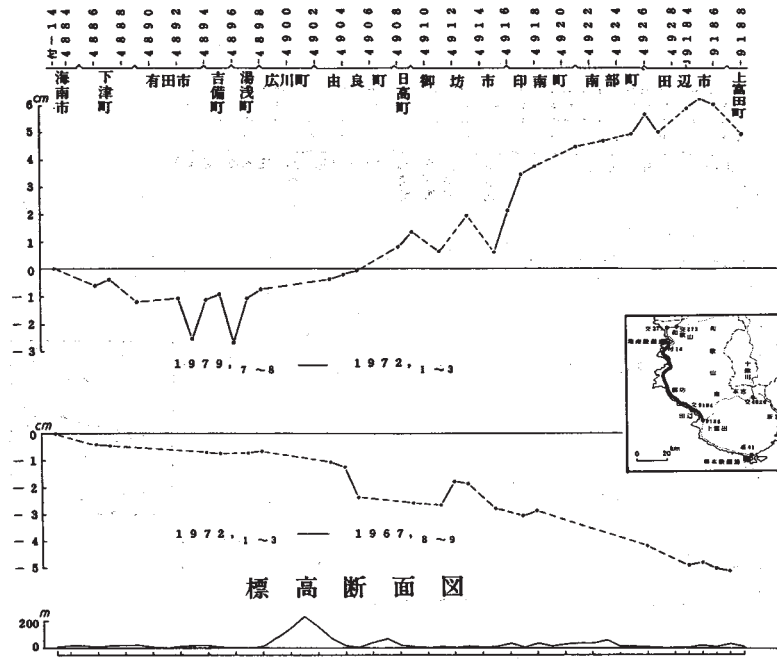
Fig. 2 Vertical movements between Osaka and Wakayama.



第3図 海南～五条間の上下変動グラフ
 Fig. 3 Vertical movements between Kainan and Gojo.

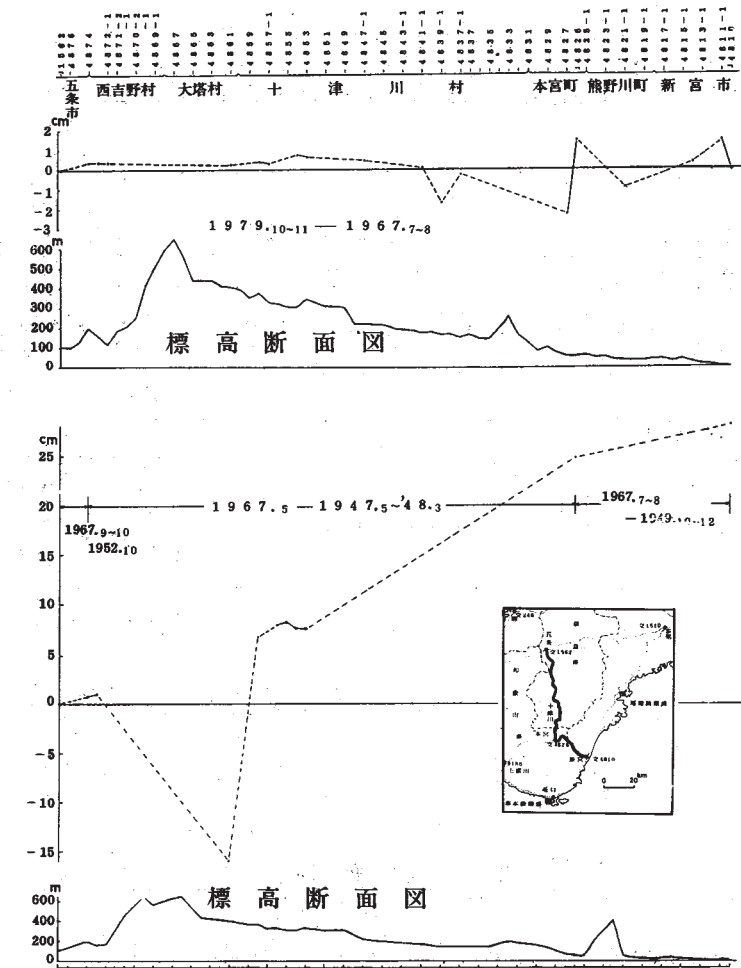


第4図 五条～多気間の上下変動グラフ
 Fig. 4 Vertical movements between Gojo and Taki.



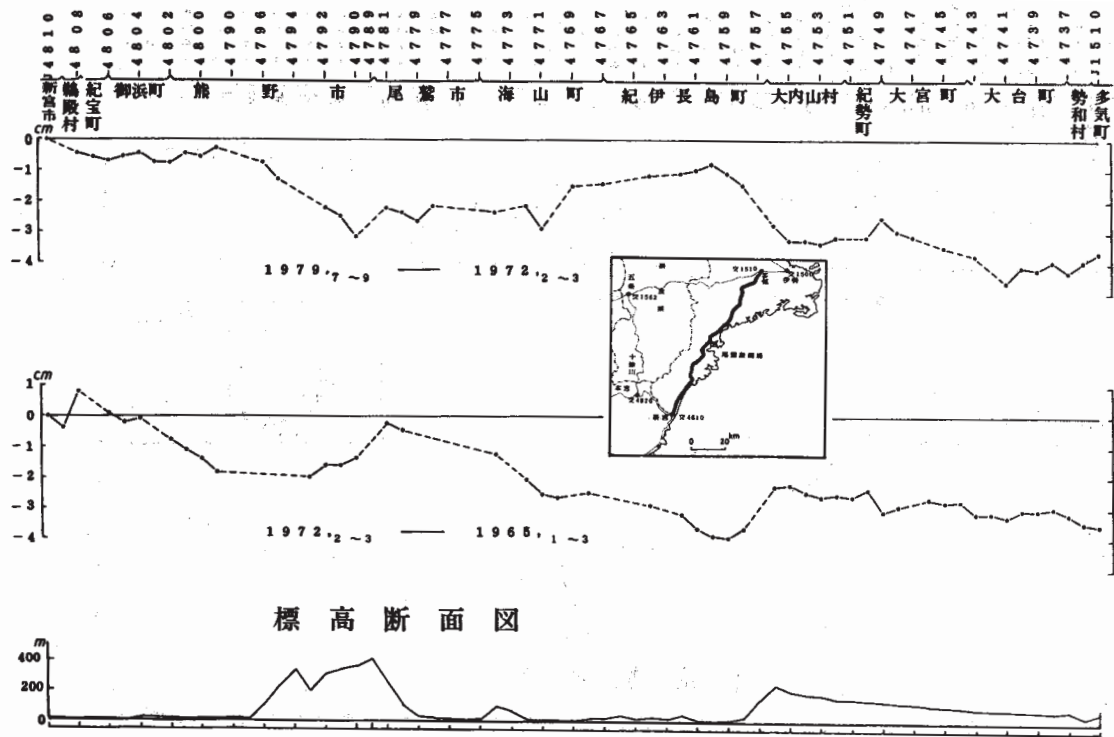
第5図 海南～上富田間の上下変動グラフ

Fig. 5 Vertical movements between Kainan and Kamitonda.

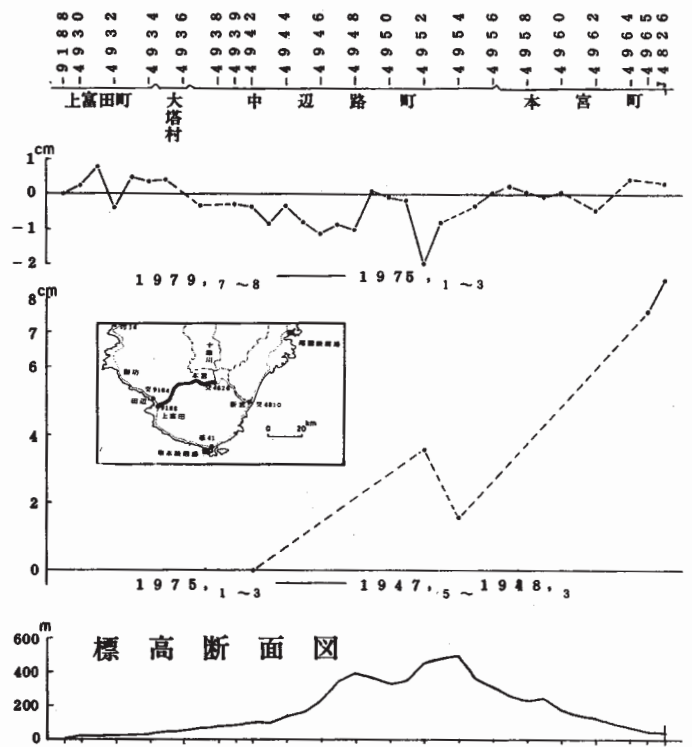


第6図 五条～新宮間の上下変動グラフ

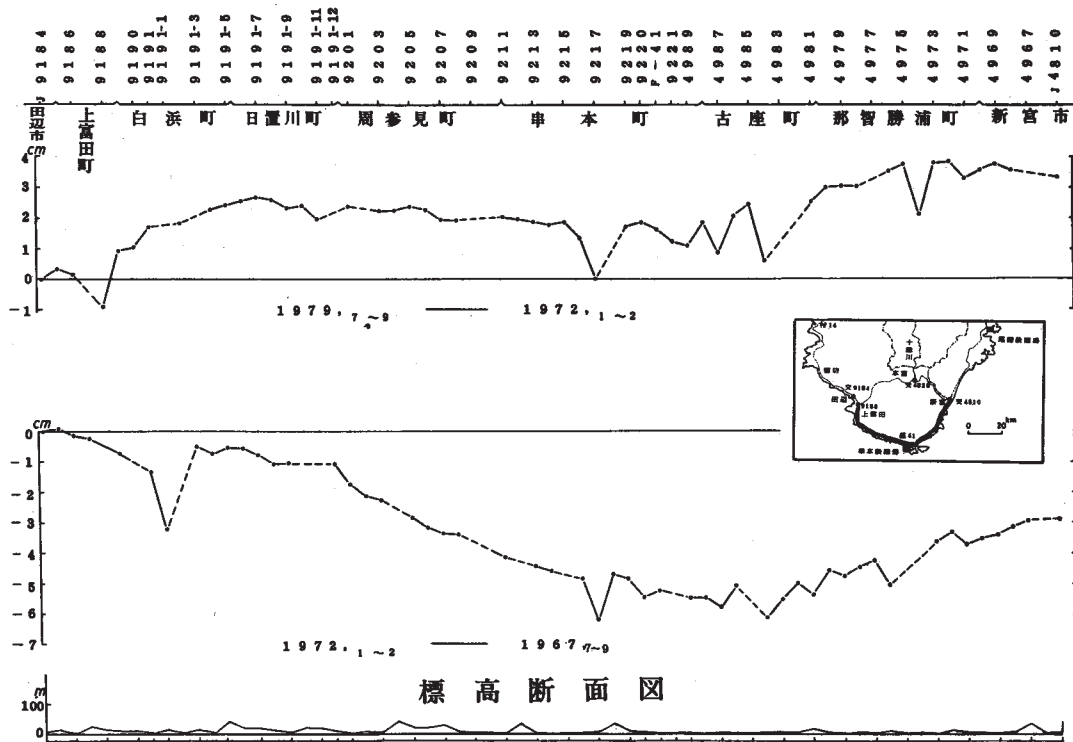
Fig. 6 Vertical movements between Gojo and Shingu.



第7図 新宮～多気間の上下変動グラフ
 Fig 7 Vertical movements between Shingu and Taki.



第8図 上富田～本宮間の上下変動グラフ
 Fig. 8 Vertical movements between Kamitonda and Hongu.



第9図 田辺～新宮間の上下変動グラフ
 Fig. 9 Vertical movements between Tanabe and Shingu.